

検体採取キット 内容一覧

*国立感染症研究所『2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・輸送マニュアル』の唾液検体の取扱・輸送に準拠。
 貴社ご担当者さまより、検体採取キットをお受け取りください。



セット内容は以下の通りです。

①一次容器（遠沈管）



②保存液



③消毒剤（アルコールパッド）



④パラフィルム



⑤ジップパック



検体採取方法

検体採取の当日、採取前に食事をした場合は、必ず歯磨きをしてください。
 唾液を採取する1時間前から、のど飴やガム、歯磨き粉、喉スプレーなどは使用しないでください。
 また、それ以外の飲食も、10分前からは避けてください。

1

①一次容器（遠沈管）のキャップを外し、遠沈管本体を片手で持ち口にくわえます。【図①】

2ml程度まで唾液を入れます。

注1) 唾液中の泡は量として見なしません。

注2) 唾液検体を、①一次容器（遠沈管）に入れるときに、容器の外側を汚染しないようご注意ください。



【図①】



【図②】

2

①一次容器（遠沈管）のキャップを開けたまま片手に持ち、②保存薬のキャップを開け、保存薬を①一次容器（遠沈管）の中に全て入れます。唾液検体の採取後は、なるべく時間を空けず、すぐに保存薬を入れてください。

注1) 保存薬が皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で15分以上洗い流してください。皮膚の炎症が続く場合は、医師に連絡してください。

3

①一次容器（遠沈管）を垂直に持ち、蓋をしっかりと閉めます。【図②】

その後、①一次容器（遠沈管）を5回ほどしっかりと振ります。液漏れのないように、容器の蓋を確実に閉めてください。また、唾液検体と保存薬が混ざるように、しっかりと振ってください。



【図③】



【図④】

4

容器外側を③消毒剤で拭き取ったあと、④パラフィルムでシールしてください。【図③】

（パラフィルムは引っ張って伸ばすと接着出来ます）

蓋をパラフィルムでシールすることで、運搬中の振動による蓋の緩みを防止できるため、必ずお願いします。

5

⑤ジップパックで包み、ジップをしっかりと閉めてください。【図④】

注1) チャックを閉じる際、ジップパック内なるべく空気を入れないようご注意ください。

6

以上で唾液の採取は終了です。貴社検体送付ご担当者様へご提出ください。唾液検体の採取後は、検査キットは直射日光を避け、室温で保存してください。高温の場所で保管する場合は、冷蔵庫での保管や、一時的冷蔵保存用としてクーラーボックスと氷（または保冷剤）のご準備をお願いいたします。